

会議議事録

				記録者	仲村 堯之
供 覧	部長	課長	課長補佐	主査・係長	G員
件 名	第6回龍ヶ崎市最上位計画策定審議会				
年月日	令和4年8月31日(水)				
時 間	午後2時～午後4時				
場 所	龍ヶ崎市役所 附属棟1階 第一会議室				
出席者	最上位計画策定審議会委員 鈴木 麻里子 委員、 谷口 佳菜子 委員、 田中 治彦 委員、 中村 友則 委員、 武藤 成一 委員、 池永 直子 委員、 披田 信一郎 委員 萩原市長 事務局 木村市長公室長、 岡野企画課長、 小室企画課長補佐、 鈴木副主幹、 記録者				
欠席者	鈴木 麻美 委員、 郡司 悦子 委員、 櫻井 惇 委員、 渡邊 孝 委員、 石引 公子 委員、 北川 滋也 委員				
情報公開	<input type="checkbox"/> 公 開	非公開(一部非公開を含む)とする理由		(龍ヶ崎市情報公開条例第 条 号該当)	
	<input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開	公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)			
発言者	内 容				
	開会 市長あいさつ 会長あいさつ 議事録署名人の指名(鈴木会長、中村委員、武藤委員)				
鈴木会長	それでは議題に入りたいと思います。 次期最上位計画、龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030(案)についてです。 事務局から説明お願いいたします。				
事務局	≪資料に基づき説明≫				
鈴木会長	はい、ありがとうございます。 ただいま事務局よりご説明ありましたが、ご質問等ありましたらお願いいたします。 披田委員、お願いします。				

はい。何点かあるのですが、前回指摘もさせていただいたので、この成果指標の扱いと最終的にこういう形にしたことについて、からお話します。

最終局面での結果としては、ある程度経過の時系列を出してみたらどうかとか、一部の考え方についても説明が欲しいということについては、今回出させていただいているのでこれ以上はないのですが、ただ表現のことでいうと、資料4として2枚ほど資料がありますよね。この内容について理解できる部分はあるのですが、分かりにくい部分があります。読み手に対して、こういった考え方で整理したということをもう少しコンパクトでいいので、説明が本文中にあってもいいのかなと思います。

合わせて37ページに、これまで測りにくかった意識を数値化する【NPS（ネットプロモータースコア）について】もコラムの一つとして出ています。これも成果指標の中で、突然に他の数値と性質の違うものが出てきていて、全然分からない。この数字を追いかけて読む方がいたら分からなくなると思います。やはりこの成果指標というのは、このような考え方で出したという説明がされたらどうかと思います。それからNPSに関するコラムというのは、その言葉そのものが表題になって、そもそもとっつきにくく感じます。日本語での表現を考えながら、それを今はこのNPSということをやっているのだという書き方も、工夫があったほうがいいかなと思います。

その上で様々な判断をして追加をしたり、いろいろ工夫をされたというご説明なのですが、例えば33ページに保育所の待機児童数を追加されています。追加されたことは構わないのですが、0が並ぶような目標になっています。この4月1日現在というのは確かに厚生労働省の全国データでは共通のものにしていることは間違いないのですが、実態として問題になるのは、その後待機児童数がどんどん増えていくことです。10月1日現在、または11月でも12月でもいいのですが、4月1日に0でも半年後には増える可能性があります。龍ヶ崎市では0に近い数値だったりもするかもしれませんが、それなりの数が出ると思います。4月1日時点で0を並べてすごいということを言わんがためではないのですが、この出し方については考えていただいたほうがいいと思います。

そういう意味では、100が続く目標というのが後ろの方にあります。ワークライフバランスの関係で、男性職員・女性職員の育休取得率です。これも事実なのでしょうが、女性はともかくとしても、男性の育休というのが龍ヶ崎市や他の自治体でもあったように、例えば5日、長くても10日取っている人がいたかどうか。1日でも取得すれば育休を取ったということになっています。10年前ぐらい前であれば、それでもまだ手をつけたと言えたかもしれませんが。前市長のときに、首長から育休を取ることが話題になったかと思いますが、今は育休取得も定着していて、何日取ったかという数字で表すのかどうかはともかくとしても、1日でも取っているということ100%だということと並べて、成果指標だというのは、どうかと思っています。

この0が並ぶものと100が並ぶものの二つが、満足度のような実態を示しているかのような数字の中に出てくるという、その違和感を覚えているので、皆さんのご意見も含めてではあります。再考いただければと思います。

あと意見ということで、全体のことで、特にコミュニティセンター13ヶ所で開催された意見交換会のうち5ヶ所、実際に出ささせていただきました。しっかり記録も取っていただいて、それなりに参考にされたと思うのですが、もともとこの最上位計画を市民参加型で作っていくという全体のプロセスが、今この局面でどうだったのかというのはありますが、コロナの状況もあって、1年前ぐらいの時点で、本当はやれていたようなことがやれていなかったりということも、分かった上ではあります。今回の7月23日から開催された13ヶ所での意見交換会は、少ないところで6人、多いところで18

人、トータルで142人の参加と聞いています。そもそも、はじめから最大で20人ないし30人の参加枠だったのでしょうか。事前予約制で、参加者限定でやるというような打ち出しをしていたわけですよね。だからどうしようとしていたのかということにも関わりますが、結果としてやはり少ないと思います。

集まった人達はそれなりにいろんなことは言ってくださって、ある程度でも参考にできたということなのですが、その中の意見の一つとして、こういう集まりをするのであれば、内容を事前に渡されてしかるべきじゃないかという意見がありました。1人だけのご意見ではありましたが、事前に概要などを出さないのですかというお伺いをしたことはあるのですが、今回そうは考えていないとのことでした。当日のパワーポイントで10分少々のプレゼンがあり、その時の資料はその場では配布されましたが、事前には一切ない中で、集まってきた人がそこからどんな最上位計画で龍ヶ崎をどうしようと思っているのかというのを読み取りながら、意見を出してくださっていた。それはすごいなと思いました。ですが本当はもっと多くの市民に呼び掛けてやるべきだったのではないのでしょうか。そのためにはもっと早い段階で、いろいろやっておくべきだったのではないかと思います。

今回、最終案の直前ではありますが、相当固まった物が現実にあって、その概要までもないところしか出せない中で、あのような形で実施したということには、少し問題があったような気がしています。それにも関わらず様々なご意見を出していただいて、その中で一番大きいのは、例えば、JR龍ヶ崎市駅の周辺のにぎわいが足りないとか、いろいろ具体的なことについては汲み取られていて、それは良いことだと思いますし、以前からもそういう意見があることは分かっていた気もするのですが、それよりもトータルで言えているのは、全体がぼやけているとは言いませんが、何をやろうとしているのか、これだという打ち出しが足りないのではないのかという受けとめが共通しているのではないかと感じました。

今更その点をどうするのかということではありますが、ただ作る側としてもそういった声が出たということを理解していただいて、今後の中で、この計画の策定を進める中でどうなるかという感じではないと思いますが、これは全体の理念なり、抽象的な総論をまとめたもので、各論は今後詰めていくということと理解しています。例えばこの成果指標の問題でもすべて具体的な数値については今後の中でやっていくということですが、そこでの市民参加というのは、従来あまり想定されてないので、この後に作られる具体計画なども含めて、もっと具体的にどうしようとしているのか、優先順位など、市長との意見交換会の中でも結構問われて、記録にもあるように市長としての優先順位というのは幾つかはっきりしています。それと、その辺のことを含めた今後の具体的なやり方のところまで含めていく必要があるなと思います。

こういった意見を初めに言ってしまうと、質疑ではなくなってしまうかもしれませんが、それが5ヶ所の意見交換会に参加して、議事録も読ませていただいて、感じた一番の印象です。だから全然駄目だとかではなくて、色々少子化や人口減少など大変な中で何を具体的にやるのかというのは人それぞれのところではありますが、その中でなおかつにぎわいを作ったり、しっかりやって欲しいということがしっかり分かるような計画がほしいという意見があるということを受け止めることが一番必要だなと思いました。

そういう意味で、成果指標については、とりあえずこのような考え方であるということなので、委員の1人として理解しますが、今後の展開の中に今のようなことをどうつなぐのでしょうか。答申書に付帯決議のような形でどのようなことを書き込むのかということにも関わりますし、この委員全体の議論の問題になると思います。以上です。

成果指標の扱いについては何かもう少し工夫があるのかないのか。もしあれば教えて

	<p>ください。それは質問とします。</p>
鈴木会長	<p>事務局お願いいたします。</p>
事務局	<p>いろいろご意見いただきありがとうございました。</p> <p>まず市民参画の話もいただきましたが、当初、1回目の審議会の全体のスケジュールの中でお話させていただいた市民参画と、今までやってきたものと比較してみますと、実際にできていなかった部分もごございます。市民懇談会につきましても、当初の予定ですと、案が固まっていない状況で、今の生活の満足度合いとか、普段の生活をしている中でどういうことを感じていますかとか、そういったことを聞くための懇談会をまず1回やりましょうと考えていました。その上で案を作って、できたものに対してもう1回意見を聞くための懇談会をやりましょうということで、2回計画をしていたのですが、実際のところ、1回目の懇談会については、開催日まで設定して周知はしたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況が悪化してしまい、開催できなかったという経緯はございます。その部分を補うために、新たにオンラインでのワークショップでありますとか、市民アンケート等でどうしても若い世代の意見がなかなか聞けなかったというところがあって、高校生政策アイデアコンテストを実施するなどして、こういう状況下で、できる範囲でのことをやれたのかなと思っております。</p> <p>また、披田委員から今回の市民懇談会開催にあたって事前の資料周知、というお話がありました。資料は事前に出しております。実際にお配りしました概要版と、序章・1章・2章・3章ということで、それほど長い期間は載せられなかったのですが、ホームページを見てきていただいたという方も実際いらっしゃいましたので、その点はお伝えしておきたいと思っております。</p> <p>また、今回は網羅的に作成したというところで、全体がぼやけているのではないかと、意見もいただきましたが、今回の特徴としてはやはり網羅的に作っていく中でも、実際この4年間で何をやっていくかということで、リーディングプロジェクトという部分で、今回の計画自体が首長マニフェストとの整合というところをポイントとしておりますので、そうした中で市長の公約に関する部分を多く載せて、そこについては他の基本計画のところでも重点的に進めていくということで、中身としても踏み込んで書いているのかなという考えでおります。</p> <p>今後につきましては、実際にこの基本計画に基づいてこういう事業を進めていくというアクションプランというものを作って、予算ですとか、3ヶ年でどういうステップで進めていくのかなど、そういったものを定めていきますので、その中で打ち出していきたいと思っております。</p> <p>また成果指標についてもご意見をいただいたところですが、この成果指標については、実際にプランの進捗評価をしていく中でどのように使っていくかというところが非常に大事かと思っております。実際に施策評価という形で毎年行っておりますが、その際には行政経営評価委員会という別の附属機関の皆さんにご参加いただいて、ご意見をいただいているところですので、その際には、ここに書いてあるKPI以外にも、ベンチマークや他市町村との比較など、例えば先ほど出ていた待機児童の数で言えば、KPIとしては4月1日だけ載せていますが、行政経営評価委員会に出す際には、10月はどうだったか、それらの数字は他の自治体と比較してどうなのかなど、そういった視点でも協議をいただいておりますので、そういった評価をする際の工夫というところで補っていただければと思っております。</p> <p>成果指標について、この基本計画では施策全体を見られるものということで、幅広の、満足度を中心に載せております。またアクションプランに定めた事業につきまして</p>

	<p>は、それぞれの事業の活動状況とか、そこで例えば何名の市民の方が参加してどれだけの満足度を得たかとか、どういう成果があつてとか、そういうものも併せて行政経営評価委員会に出していきますので、そうしたところで、この指標よりももう少し幅広い視点で評価して、その次につなげていくことができるのかなと考えています。以上です。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございます。披田委員お願いします。</p>
披田委員	<p>これまで色々申し上げましたのでこれだけに留めますが、リーディングプロジェクトとして、31 ページに3つの枠で計9つの施策を出しています。これが今回の具体的な重点項目であつて、市長公約とも絡めているというご説明だったかと思います。それで今回市長との意見交換会なども受けて、全体を改めて読んでの感想なのですが、もっとこのリーディングプロジェクトの中身をしっかりと書くということは考えられないのかという感想を持っています。最小限の表現で、言うべきことは言っているということであれば分からなくもないのですが、例えば人口減少の抑制とか、少子化対策とか色々なものがポイントになるわけですが、そのことについて未来創造プロジェクトでは、第1点が「新婚カップルの本市への定住をゴールに掲げ、出会いの場や機会の創出といった結婚支援市内への居住サポートなどの取り組みを推進します」という、今までの議論や計画に書かれていることには矛盾はしていないのですが、新婚カップルの本市への定住をゴールということで、例えば県内では早い時期に大子町が新婚家庭に対して、居住費なども含めて50万円とか100万円といった金額の補助を出しているという施策もある中で、龍ヶ崎市が新婚カップルというのを取って入れていることについて、何を考えていたのか、そしてどこかに書いていたのかというのが気になります。また出会いの場や機会の創出といった結婚支援も、一般的には珍しいものではありませんが、結構踏み込んでいる感じがします。一方で、どういうふうに進めていくのかという具体的なことは今後に期待というような話になっています。</p> <p>それから、今日のご欠席ですが、北川委員からリーディングプロジェクトという言葉へのご意見がありました。どこかの組織が明確に、業務としてしっかり担っていくのかということについてご質問されておりました。そこをそうではなくて、重点テーマという意味合いで、ここではリーディングプロジェクトという言葉を使っているということでした。まだまだ抽象的ですので、今後のことの予告編のように記載するのであれば、もっとはっきり書いてしまえばいいのではないかと思います。以上です。</p>
鈴木会長	<p>はい。事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。リーディングプロジェクトにこのように書かせていただいていることというのは、内部で具体的にどう進めていくかという検討を進めているところではありますが、まだ今の時点ではなかなか具体的に事業単位で示していくことが難しいという状況で、項目によっては内容が読み取りにくい表現になっている部分もあるかと思えます。ご意見を参考に、アクションプランで示す際に、この項目がここで言っていたリーディングプロジェクトに関する事業だということを分かりやすく示していきたいと思えます。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございます。はい。田中委員お願いします。</p>
田中委員	<p>リーディングプロジェクトにもある「魅力創造プロジェクト」について、もっと魅力が感じられるまちということで、市民アンケートでは、非常に住みやすいという結果がありながら、将来性やにぎわい、魅力がないということが多く、これが大事なことだと思います。具体的には牛久沼と森林公園が出ていて、両方とも整備をするというのはす</p>

	<p>ごく大事だと思いますが、牛久沼については他の関係市町村との調整もあってか、アイデアばかり出るもののなかなか進んでいないように感じます。例えばこの4年とか8年の間に、この牛久沼トレイルは前進するのかどうかということの、実現可能性といいたいでしょうか。それが気になるのが一つあります。</p> <p>それから42ページの観光資源・まちづくり・魅力づくりというところで、やはりこの魅力を皆で出し合うような仕組みですとか、或いはみんなで創造するような仕組みづくりをしていかないといけないのではないかと思います。これまでアイデアは多く出る一方で、現実的にはうまくいっていなかったのではないのでしょうか。高校生は随分良いアイデアを出してきてくれています。そういう仕組みづくりが大事なのではないかと思います。以上です。</p>
鈴木会長	はい、ありがとうございます。実現可能性について、事務局お願いします。
事務局	<p>牛久沼トレイルにつきましては、田中委員が仰ったように、関係市町村の協力がどうしても不可欠ということで、これまで協議を進めている中で、もともとは道の駅が拠点となつての牛久沼トレイルという考え方が前提にありましたので、現在、道の駅整備に関する事業が休止という状況で、整備費や利用者数などの再検証を進めています。そういったものを出しながら、収支状況などを再検証して、10月を目途に道の駅の実現性について再検証した結果を市民の方とかに出していくという作業を進めております。そういうものを含めた中で、トレイルについても、話が進むのではないかなと思います。</p> <p>道の駅をやるやらないに限らず、萩原市長はトレイルを優先的にやりたいという思いもあります。首長同士で集まる機会もありますので、そういったところで協力を要請していくということになるかと思えます。4年間のうちに実現できるかどうかは何とも言えませんが、ただ市でできることをまず粛々とやっていくということで、ご理解をいただきたいと思えます。</p>
鈴木会長	<p>はい。そのほかございますでしょうか。</p> <p>そうしましたら、ご意見等あった部分については適宜修正を加えていただきまして、次期最上位計画案としてまとめていただくようお願いいたします。そしてさらに市民の皆さんに再度、ご提示していただくということで、よろしいですか。</p> <p>では事務局お願いします。</p>
事務局	<p>今のご審議を踏まえまして、修正する箇所としましては、披田委員からありました成果指標の設定の考え方を載せてくるところで、その点については修正を加えたいと思えますが、各ページにそれぞれ載せていくのは難しいので、例えば資料編への掲載や注記としての記載を念頭に、修正を加えさせていただければと思います。</p> <p>掲載場所は検討させていただきたいと思えます。</p>
鈴木会長	披田委員お願いします。
披田委員	<p>6月7日から10月下旬までの間ということで意見を聴取しているという書き方があったかと思えます。資料編の112ページになりますが、次期最上位計画策定に係る意見募集は実施中なののでしょうか。こうした募集を実施していること自体を理解していませんでした。これについては、どんな周知をしていて、どのような意見が出ているのか、そして今後9月6日から始める予定のパブリックコメントとの兼ね合いについても、今までも色々なところで形式的にやっているという前提で来ています。それに重なるこの意見募集についてどのように整理していくのでしょうか。</p>

<p>事務局</p>	<p>様々なワークショップなどを開催しながらも、参加できないという方がいらっしゃると思いますので、自由にご意見を集めるようなやり方について、りゅうほーやホームページでもお知らせしておりました。いばらき電子・申請システムを使って意見をいただくというものでございます。実施期間については確認いたします。</p> <p>パブリックコメントを実施する段階で、ある程度案が固まってくると思いますので、そこまでということの間もなく終わるものになります。最終的な件数は出していませんが、10件程度は上がってきているというのが現状です。人数でいうと10人ではなくて、もう少し少ない人数で複数のご意見を出されていたと認識しています。そのご意見につきましては、それぞれその都度確認をして、反映できる部分については反映しているという状況です。ただこれも全般的に、要望事項が非常に多いという印象ではあります。</p>
<p>披田委員</p>	<p>様々な方法で意見を集めるということは一般論としては良いことかと思えます。ただやはりこちらが知らなかっただけかもしれませんが、知らされていなくて、またそこに出てきた意見というのがどう参考にされているか、これだけ色々な意見が出されているながら、それは別だという話自体がどうかと思えます。この最上位計画については、市民参画という流れの中で、新型コロナウイルス感染症の影響でずれたり、やり方が変わったりしたものがある中でも、やってきているわけですから。そういう意味で、この資料編の中には、結果として入れるということが入っているにも関わらず、それが定かな形でないということについては、少し変だなと思えます。以上です。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>それでは事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今ご意見がありました、フリーでいただいた意見についても、まとめて共有させていただければと思います。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>では、今回いただいたご意見等を踏まえ、修正を加えて次期最終計画案としてまとめていただくということになります。そして市民の皆様へまた再度修正したものを提示するという流れにさせていただければと思います。</p> <p>それでは続いて、その他に移りたいと思います。事務局からお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>冒頭申し上げました答申についてです。</p> <p>今回の審議を踏まえて修正を加えてパブリックコメント前の最終案という形にして、これからパブリックコメントをかけていくということになります。その後、市長からの諮問ということで受けた最終的な計画案に対し、審議会からの答申としてお返しをするというのが次回の審議会になる予定です。</p> <p>答申のやり方につきましては、大きく分けて3つのパターンがあるかと考えています。まず1つが、一般的なやり方ですが、事務局がこれまでの意見を踏まえて答申案を作り、それを委員の皆さんに共有して意見をいただきながら、修正を加えていって最終的に審議会の前までに答申案を固めて、審議会に臨み、そこで市長に渡すというような流れ、これが1点目のやり方かと考えています。</p> <p>2点目としては、答申の内容、答申の冒頭の部分については基本的には変わらないものと考えています。ただしというところの付帯意見、先ほどありましたが、例えばこの後の施策の遂行に対しての審議会としての意見であるとか、そういう付帯意見をつけるというようなケースもあります。そういう場合は、例えばこれからこの場でこういった意見を付帯として載せて欲しいという内容を、委員の皆さんでご審議いただいた上で、リストアップをしていただいて、それを事務局の方でお預かりをして、それを反映させ</p>

	<p>て答申を作っていくという流れで、以後は同じ流れになります。</p> <p>最後は、全く事務局は関わらないというやり方です。委員の中で答申を決めて、このように出してくださいというふうなご意見でいただいたものをそのまま事務局として出して審議会に臨むというようなやり方、合わせて3パターンかと思っています。どういったやり方を採っていくかを委員の皆さんでご審議いただければなと思います。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>ありがとうございます。いよいよ答申の方法にまで議論が進みまして、事務局から答申の方法についてご説明いただきました。</p> <p>お話を伺いながら、私としてはまず3つめは難しいかなと思っています。こちらで作成というのは難しいと思いますので、1つめか2つめかというところを考えていたんですけども、やはり一般的な1つ目のやり方が良いかと思いつつも、委員の皆さんのご意見というものも十分に反映させていただきたいという思いもありますので、2つ目のやり方を踏まえて、今日ご意見をいただいて、その上で、事務局でこれまでの意見を踏まえて答申案を作成していただくというやり方がベターな方法ではないかなと考えておりましたがいかがでしょうか。</p> <p>私の方からこうしたやり方をご提案させていただきたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>披田委員お願いします。</p>
<p>披田委員</p>	<p>形式以前に、付帯意見をやはり付けるべきだと思います。丸々これで結構ですと終わりではないほうが良いと思います。前に総合計画時代に関わってきた中でも、ほとんど原則的には付帯意見は作ってやってきていました。</p> <p>その上でどうまとめるのかということですが、初めに話をさせてもらった中で、もっと具体的なところにまで市民は関心を持っていて、この総論的なことだけでできていけばそれでよいということにはなりません。ですが実際、今までの策定の仕方而言えば、アクションプランについては予算の編成と絡めていく中で、予算は単年度ということで、執行部や議会は議論しますが、アクションプランは完成した後にホームページなどに掲載されます。このプランが一番具体的な事業なり、最上位計画を形にしていく一番のものであるというご説明があったので、その辺についても、市民参画というか、一体的なものとして何か考えられないかということのを要望なり、提言したいということです。</p> <p>ただそれがすべてということではなく、もっと細かく精査した上で、何点かやはり、分野ごとに言ったほうがいいのかという思いもあるのですが、今全ての点をここで挙げ切るのは厳しいので、もう少し時間的な余裕がもらえないかというのが意見です。</p> <p>そういう意味で、これまでやってきた流れを踏まえれば、要するにタイムリミットのどうなのかということが気になります。パブリックコメントが終わって、執行部でパブリックコメントについての意見をまとめるという作業は、審議会とは別に行われるのかと思います。その上で、最終案を確認して、付帯意見をつけて答申をするという流れを考えれば、10月の半ば以降になると思います。その後12月議会で議題として出そうということであれば、時間的な余裕がないわけでもないですよ。その間2度3度この審議会を開けという無茶なことは言わないのですが、可能であれば、一度勉強会ということで集まって整理をした上で、会長に委嘱して、会長と事務局で成文化するというのはいかがでしょうか。</p> <p>私も含めて今すぐにどういう付帯意見を出せばいいのかという考えを出すのは、なかなか難しいことかと思しますので、そういうスケジュール感でやってもらえないか、どうしてもそれが難しければ、メールなどでそれぞれが意見を出して、鈴木会長にそれを束ねる作業をお願いするというで考えています。</p>

	<p>もし時間があれば、勉強会ということで一度やれるとか、全部がまとまった10月半ばぐらいにやっていただけるとありがたいかと思ひます。以上です。</p>
鈴木会長	<p>はい、ありがとうございます。先に今後の予定を事務局からご説明いただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントは9月6日から10月5日という予定で実施しますので、10月前半にはパブリックコメントの結果が出ます。その結果をまとめて、計画を修正する部分があるかどうかという判断をした後に、最終的な案が固まるというところではあります。</p> <p>審議会については、現状ですと10月下旬に次回の開催を予定しています。12月議会への議案提出が11月初旬になり、それまでには議案という形で作成する必要がありますので、10月下旬に審議会を開催するというスケジュールを組んでいます。日程については別途調整ということになります。10月24日からの週ごろかと考えています。その段階では答申書の内容が固まっているというのが理想ですので、10月初めごろに勉強会を開催するのであれば、その頃には答申に載せるべき付帯意見はある程度リストアップが終わっていて、その後に文章的にまとめる作業がありますので、半月ぐらいお時間をいただくと良いかと思ひます。</p>
鈴木会長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールを踏まえて、また披田委員からのご提案を受けまして、事務局からの一つの提案になります。</p> <p>今日欠席されている委員もいらっしゃいますので、別途、委員の方全員に、答申の作り方がこういうふうになり、についてはいつまでにメールでお送りくださいということに別途依頼をさせていただいて、その後に事務局で集約させていただきます。その後、鈴木会長と相談させていただきながら、開催可能であれば勉強会を開催して、そこでこちらで集約した付帯意見案について意見をいただいた上で、適宜修正を行って、最終の審議会に出す答申書の案をまとめていきたいと思ひます。こういった提案です。</p>
鈴木会長	<p>それでいきましょう。</p> <p>1日お時間いただくのか、或いはメール審議等に代替させていただくのかについては、一度お時間いただければと思ひます。</p> <p>それでは、その他について皆さんから何かございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。では本日の議題は以上となります。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして本日の審議会を終了させていただきます。お疲れ様でした。</p>
<p>令和 4年 月 日</p> <p style="text-align: right;">会 長</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人</p>	